

第2章 喜多方市の 歴史文化資源の概要

1. 指定等文化財

(1) 喜多方市の指定等文化財の状況

文化財保護法、福島県文化財保護条例（昭和45年福島県条例第43号）及び喜多方市文化財保護条例（平成18年1月4日条例第142号）による本市の指定等文化財は、合計で202件（令和5年4月1日）です。このほかに、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財が1件（会津の初市の習俗）となっています。

本市の指定等文化財の分布状況をみると、市域の平野部に集中しており、国指定・選定文化財11件中6件、県指定文化財38件中23件、市指定文化財101件中39件と、指定等文化財の約半数が社寺関係の有形文化財（市指定は有形の民俗文化財を含む）となっていることが特徴の一つです。天然記念物も13件中5件が社寺関係の巨樹・巨木であり、有形の民俗文化財の多くが石碑や供養塔で、喜多方の人々の古くからの信仰の深さを顕著に示しています。絵画の指定はありませんが、その時代に実際の農作業の様子を見て描いたと考えられる農耕絵馬が多く残されており、当地での生活を知ることができる資料として有形の民俗文化財に指定されています。登録有形文化財については、その多くが蔵のまちである本市を象徴する土蔵造りの建造物で、用途は、店蔵、座敷蔵、醤油蔵、作業蔵、家財蔵等、自家の生業や産業と結びついて実に多種多様で、木造漆喰だけでなく、煉瓦蔵があることも特徴です。また、短冊型の細長い敷地の北に寄せて建物を建て、南に通路を設け、表通りからミセ、主屋、土蔵等の附属屋の順に並ぶ敷地の使い方にも特徴があります。重要伝統的建造物群保存地区に選定されている小田付地区では、多種多様な土蔵造りの伝統的建造物が群として残り、その敷地の使い方とあわせて、町並みの特徴をよく捉えることができます。本市は遺跡の指定も多く、河川沿岸域を中心に貴重な遺跡が残されています。

表 2-1：喜多方市の指定等文化財の件数

令和5年4月1日現在

区分			国指定・選定					県指定					市指定							国登録		合計	
			地域別					地域別					地域別							地域別	計		
			喜	熱	塩	全	計	喜	熱	塩	山	高	計	喜	熱	塩	山	高	全	計	喜		計
有形文化財	美術工芸品	建造物	2				2	4				4		3	1					4	52	52	62
		絵画					0					0								0	0	0	
		彫刻	2				2	8		2	3	13	8	2	1	1	3		15		0	30	
		工芸品	1	1			2	4				4	3			6	2		11		0	17	
		書跡・典籍					0	1				1	1			1			2		0	3	
		古文書					0		1			1			1	4	3		8		0	9	
		考古資料					0	1				1		1			2		3		0	4	
	歴史資料					0	1			1	2	1			1	1		3		0	5		
無形文化財	芸能（演劇、音楽）						0				0								0		0	0	
	工芸技術						0				0								0		0	0	
	その他						0				0								0		0	0	
民俗文化財	有形						0	1			1	10	1	5	5	4		25		0	26		
	無形		1				1	2(1)		(1)	3	2	1	2				5		0	9		
記念物	遺跡		1		1		2	1	1	2	1	5	2	2	9		2		15			22	
	名勝地						0	1			1							0		0	1		
	動物、植物、地質鉱物					1	1	1			1	2	3	1	2	1	1	2	10			13	
文化的景観							0		-		-				-			-		0	0		
伝統的建造物群			1				1		-		-				-			-	-	-	1		
合計			8	1	1	1	11	26	2	4	5	1	38	29	11	21	19	18	2	101	52	52	202

表 2-2：喜多方市の埋蔵文化財及び文化財の保存技術の件数

令和5年4月1日現在

区分	喜	熱	塩	山	高	合計
埋蔵文化財	151	80	118	75	58	482
文化財の保存技術						0

※地域別は、喜=喜多方地域、熱=熱塩加納地域、塩=塩川地域、山=山都地域、高=高郷地域、全=市内全域を示します。

※数字が空欄である場合は、該当数が「0」であること、「-」は指定等の制度自体が存在しないことを示します。

※「会津念仏撰取講」（市指定：旧喜多方市）、「中ノ目念仏踊り」（市指定：旧塩川町）は、「会津大念仏撰取講」として県指定となっているため、両市町に（1）とし、合計は1を計上しています。

（2）喜多方市の指定等文化財一覧

①国指定・国選定文化財（11件）

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
1	熊野神社長床	昭和 38 年 7 月 1 日	有形文化財	建造物
2	勝福寺観音堂	昭和 57 年 6 月 11 日	有形文化財	建造物
3	木造薬師如来坐像	昭和 3 年 4 月 4 日	有形文化財	彫刻
4	木造阿弥陀如来及両脇侍坐像	昭和 4 年 4 月 6 日	有形文化財	彫刻
5	銅鉢	昭和 38 年 7 月 1 日	有形文化財	工芸品
6	椿彫木彩漆笈	昭和 35 年 6 月 9 日	有形文化財	工芸品
7	会津の御田植祭	平成 31 年 3 月 28 日	民俗文化財	無形
8	古屋敷遺跡	平成 12 年 12 月 4 日	記念物	遺跡
9	会津新宮城跡	平成 21 年 7 月 23 日	記念物	遺跡
10	ニホンカモシカ	昭和 60 年 3 月	記念物	動物
11	小田付伝統的建造物群保存地区	平成 30 年 8 月 17 日	伝統的建造物群	在郷町・醸造町

②県指定文化財（38件）

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
1	熊野神社本殿	昭和 42 年 12 月 8 日	有形文化財	建造物
2	旧手代木家住宅	昭和 61 年 3 月 31 日	有形文化財	建造物
3	旧外島家住宅	平成 4 年 3 月 24 日	有形文化財	建造物
4	願成寺本堂・旧阿弥陀堂・山門	平成 22 年 5 月 21 日	有形文化財	建造物
5	木造不動明王立像	昭和 28 年 10 月 1 日	有形文化財	彫刻
6	木造大日如来坐像	昭和 28 年 10 月 1 日	有形文化財	彫刻
7	木造如意輪観音坐像（観音寺）	昭和 30 年 2 月 4 日	有形文化財	彫刻
8	木造毘沙門天立像（勝福寺）	昭和 30 年 12 月 27 日	有形文化財	彫刻
9	銅造五大虚空蔵菩薩坐像	昭和 31 年 9 月 4 日	有形文化財	彫刻
10	銅造聖観音菩薩立像	昭和 35 年 3 月 29 日	有形文化財	彫刻
11	木造 ^{ぎょうどうめん} 行道面	昭和 36 年 3 月 22 日	有形文化財	彫刻
12	木造文殊菩薩騎獅像	昭和 39 年 3 月 24 日	有形文化財	彫刻
13	熊野神社御神像	昭和 42 年 4 月 4 日	有形文化財	彫刻
14	木造十一面観音菩薩坐像	昭和 63 年 3 月 23 日	有形文化財	彫刻
15	木造釈迦如来立像	平成 5 年 3 月 23 日	有形文化財	彫刻
16	木造聖徳太子立像（金川寺）	平成 11 年 3 月 30 日	有形文化財	彫刻
17	木造薬師如来座像附木造十二神将立像	令和 2 年 3 月 23 日	有形文化財	彫刻
18	熊野山 ^{ごおう} 牛玉宝印版木および宝珠	昭和 28 年 10 月 1 日 平成 7 年 3 月 31 日	有形文化財	工芸品

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
19	銅製鰐口	昭和30年12月27日	有形文化財	工芸品
20	銅鐘（勝福寺）	昭和30年12月27日	有形文化財	工芸品
21	銅鐘（新宮熊野神社）	平成4年3月24日	有形文化財	工芸品
22	大般若経附経櫃六合	昭和57年3月30日	有形文化財	典籍
23	示現寺文書	平成6年3月4日	有形文化財	古文書
24	松野千光寺経塚出土品	平成3年3月22日 平成23年6月10日	有形文化財	考古資料
25	法然影像及び血脈版木	平成18年4月7日	有形文化財	歴史資料
26	絹本着色飯豊山参道絵図附桐箱一合	平成22年5月21日	有形文化財	歴史資料
27	会津の染型紙と関係資料	平成15年3月25日	民俗文化財	有形
28	上三宮三島神社の太々神楽	昭和53年4月7日	民俗文化財	無形
29	下柴の彼岸獅子	昭和62年3月27日	民俗文化財	無形
30	会津大念仏撰取講	平成15年3月25日	民俗文化財	無形
31	伝佐原義連の墓	昭和31年9月4日	記念物	遺跡
32	別府の一里塚	昭和33年8月1日	記念物	遺跡
33	旧一戸村制札場	昭和33年8月1日	記念物	遺跡
34	糠塚古墳群	昭和44年4月11日	記念物	遺跡
35	常世原田遺跡	昭和54年3月23日	記念物	遺跡
36	旧甲斐家庭園	令和4年5月17日	記念物	名勝地
37	アイヅタカサトカイギョウ化石	平成9年3月25日	記念物	地質鉱物
38	にげんざいけ 二軒在家の大クリ	平成28年4月26日	記念物	植物

③市指定文化財（101件）

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
1	示現寺観音堂	平成18年1月4日	有形文化財	建造物
2	示現寺総門	平成18年1月4日	有形文化財	建造物
3	白山神社拝殿	平成18年1月4日	有形文化財	建造物
4	竹屋観音堂	平成18年1月4日	有形文化財	建造物
5	木造如意輪観音坐像（新宮熊野神社）	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
6	木造虚空蔵菩薩坐像（新宮熊野神社）	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
7	木造阿弥陀如来坐像（龍泉寺）	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
8	木造地藏菩薩立像	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
9	銅造地藏菩薩坐像	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
10	木造阿弥陀如来坐像（峯利田区）	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
11	伝木造千手観音立像	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
12	木造三十三観音立像	平成18年1月4日	有形文化財	彫刻
13	木造相撲力士像	平成27年3月18日	有形文化財	彫刻
14	木造小動物像	平成27年3月18日	有形文化財	彫刻
15	銅造阿弥陀如来立像	平成27年3月18日	有形文化財	彫刻

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
16	木造狛犬	平成 27 年 11 月 20 日	有形文化財	彫刻
17	木造相撲取像	平成 30 年 3 月 20 日	有形文化財	彫刻
18	木造虚空蔵菩薩坐像（板の沢）	令和 3 年 2 月 24 日	有形文化財	彫刻
19	木造聖徳太子立像（浄教寺）	令和 5 年 2 月 9 日	有形文化財	彫刻
20	熊野神社経筒	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
21	双盤（泉福寺・元禄 8 年銘）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
22	双盤（泉福寺・元禄 15 年銘）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
23	鉦鼓	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
24	梵鐘（泉福寺・天明 2 年銘）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
25	梵鐘（泉福寺・元禄 15 年銘）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
26	鈴	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
27	銅鐘（円満寺）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
28	銅製双盤（明照寺）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	工芸品
29	鉄造阿弥陀如来及両脇侍坐像懸仏	平成 27 年 11 月 20 日	有形文化財	工芸品
30	鉄造三尊坐像懸仏	平成 29 年 2 月 9 日	有形文化財	工芸品
31	大般若経六百卷附経櫃六合	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	典籍
32	紺紙金泥法華経	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	典籍
33	駒形堰由来記	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
34	知行証文	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
35	キリシタン類族文書	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
36	先祖譲状三軸外文書	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
37	会津家中諸役知行名鑑	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
38	斎藤家肝煎文書	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
39	渡部家所蔵古文書	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
40	加藤氏示達文書	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	古文書
41	弥生土器（岩尾遺跡出土）	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	考古資料
42	ばっけ 博毛遺跡出土品土器	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	考古資料
43	ばっけ 馬景遺跡出土品甕型土器	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	考古資料
44	会津藩領内地図	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	歴史資料
45	渡船場制札	平成 18 年 1 月 4 日	有形文化財	歴史資料
46	岩代国耶麻郡小田付村絵図	平成 29 年 2 月 9 日	有形文化財	歴史資料
47	絵馬富士見西行図	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
48	三津谷の登り窯	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
49	絵馬	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
50	小林家所蔵の暦	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
51	ふらう 布流遠藤家の供養碑	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
52	布流高橋家の供養碑	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
53	太田の供養碑	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
54	菅井の供養碑	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
55	草木塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
56	沖舍利塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
57	下利根川石造供養塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
58	上利根川石造供養塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
59	駒形大明神碑	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
60	駒形堰碑	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
61	アーク供養塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
62	青面金剛・庚申供養塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
63	道標	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
64	宝塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
65	阿弥陀三尊種子供養塔（ いたび 板碑）	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
66	石造五輪塔	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
67	六地藏石幢	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	有形
68	宮中八幡神社農耕絵馬	平成 20 年 7 月 22 日	民俗文化財	有形
69	慶徳稲荷神社農耕絵馬	平成 20 年 7 月 22 日	民俗文化財	有形
70	たて 館稲荷神社農耕絵馬	平成 20 年 7 月 22 日	民俗文化財	有形
71	上三宮三島神社農耕絵馬	平成 20 年 7 月 22 日	民俗文化財	有形
72	会津念仏撰取講	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	無形
73	中ノ目念仏踊り	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	無形
74	中道地竹細工	平成 18 年 1 月 4 日	民俗文化財	無形
75	熱塩の梵天祭	平成 30 年 3 月 20 日	民俗文化財	無形
76	中村の彼岸獅子	令和 4 年 2 月 17 日	民俗文化財	無形
77	青山城跡	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
78	山崎横穴古墳群	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
79	湯館山城	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
80	御清水	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
81	弾正ヶ原	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
82	常世・竹花古墳	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
83	のうりき 能力経塚及び経碑	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
84	御殿場	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
85	十九壇古墳群	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
86	かがみ が じょうあと 鑑ヶ城跡土塁	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
87	大原遺跡	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
88	深沢古墳	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
89	示現寺正安の碑	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
90	伝小野小町塚	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
91	春日神社石祠	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	遺跡
92	押切川公園イトヨ生息地	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	動物

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
93	中善寺のめおとカリン	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	植物
94	新宮熊野神社の大イチョウ	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	植物
95	温泉神社の大杉	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	植物
96	戸隠神社の大イチョウ	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	植物
97	杓 ^{しゃくし} 子 ^が 入 ^{いり} のメグスリノキ	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	植物
98	御沢 ^{おさわ} の杉と栃	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	植物
99	塩坪化石層	平成 18 年 1 月 4 日	記念物	地質鉱物
100	ギフチョウ	令和 2 年 2 月 18 日	記念物	動物
101	キマダラルリツバメ	令和 2 年 2 月 18 日	記念物	動物

④国登録文化財（52件）

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
1	旧甲斐家住宅座敷蔵	平成 13 年 4 月 24 日	有形文化財	建造物
2	旧甲斐家住宅店蔵	平成 13 年 10 月 12 日	有形文化財	建造物
3	旧甲斐家住宅醤油蔵	平成 13 年 10 月 12 日	有形文化財	建造物
4	旧甲斐家住宅主屋	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
5	旧甲斐家住宅味噌蔵及び麹蔵	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
6	旧甲斐家住宅稲荷社	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
7	旧甲斐家住宅表門	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
8	旧甲斐家住宅裏門	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
9	旧甲斐家住宅東塀及び北塀	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
10	旧甲斐家住宅南塀	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
11	若喜商店店舗	平成 13 年 10 月 12 日	有形文化財	建造物
12	若喜商店煉瓦蔵	平成 13 年 10 月 12 日	有形文化財	建造物
13	若喜商店座敷蔵	平成 13 年 10 月 12 日	有形文化財	建造物
14	若喜商店醸造場	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
15	若喜商店作業蔵	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
16	島慶園店舗蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
17	上野家住宅主屋	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
18	上野家住宅味噌蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
19	上野家住宅旧穀蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
20	上野家住宅煉瓦蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
21	上野家住宅調度蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
22	上野家住宅離屋	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
23	上野家住宅煉瓦塀	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
24	若菜家住宅煉瓦座敷蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
25	若菜家住宅煉瓦三階蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
26	若菜家住宅作業蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物

番号	名 称	指定年月日	文化財の体系図に基づく分類	
27	若菜家住宅煉瓦味噌蔵	平成 22 年 9 月 10 日	有形文化財	建造物
28	冠木商店主屋及び味噌蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
29	冠木商店質蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
30	冠木商店南の蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
31	旧嶋新商店店舗蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
32	旧嶋新商店座敷蔵及び主屋	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
33	旧嶋新商店一号蔵・二号蔵及び三号蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
34	旧嶋新商店四号蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
35	旧山時呉服店家財蔵	平成 23 年 10 月 28 日	有形文化財	建造物
36	矢部家住宅座敷蔵	平成 25 年 3 月 29 日	有形文化財	建造物
37	矢部家住宅一号蔵	平成 25 年 3 月 29 日	有形文化財	建造物
38	矢部家住宅綿蔵	平成 25 年 3 月 29 日	有形文化財	建造物
39	井上合名会社座敷蔵	平成 25 年 3 月 29 日	有形文化財	建造物
40	井上合名会社店舗蔵	平成 25 年 3 月 29 日	有形文化財	建造物
41	井上合名会社醸造蔵	平成 25 年 3 月 29 日	有形文化財	建造物
42	松本屋店舗蔵	平成 28 年 8 月 1 日	有形文化財	建造物
43	松本屋文庫蔵	平成 28 年 8 月 1 日	有形文化財	建造物
44	松本屋家財蔵	平成 28 年 8 月 1 日	有形文化財	建造物
45	笹正宗酒造店舗兼主屋	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
46	笹正宗酒造酛蔵	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
47	笹正宗酒造仕込蔵	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
48	笹正宗酒造槽蔵	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
49	笹正宗酒造貯蔵庫	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
50	笹正宗酒造文庫蔵	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
51	笹正宗酒造稻荷社	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物
52	笹正宗酒造正門及び塀	令和 3 年 7 月 16 日	有形文化財	建造物

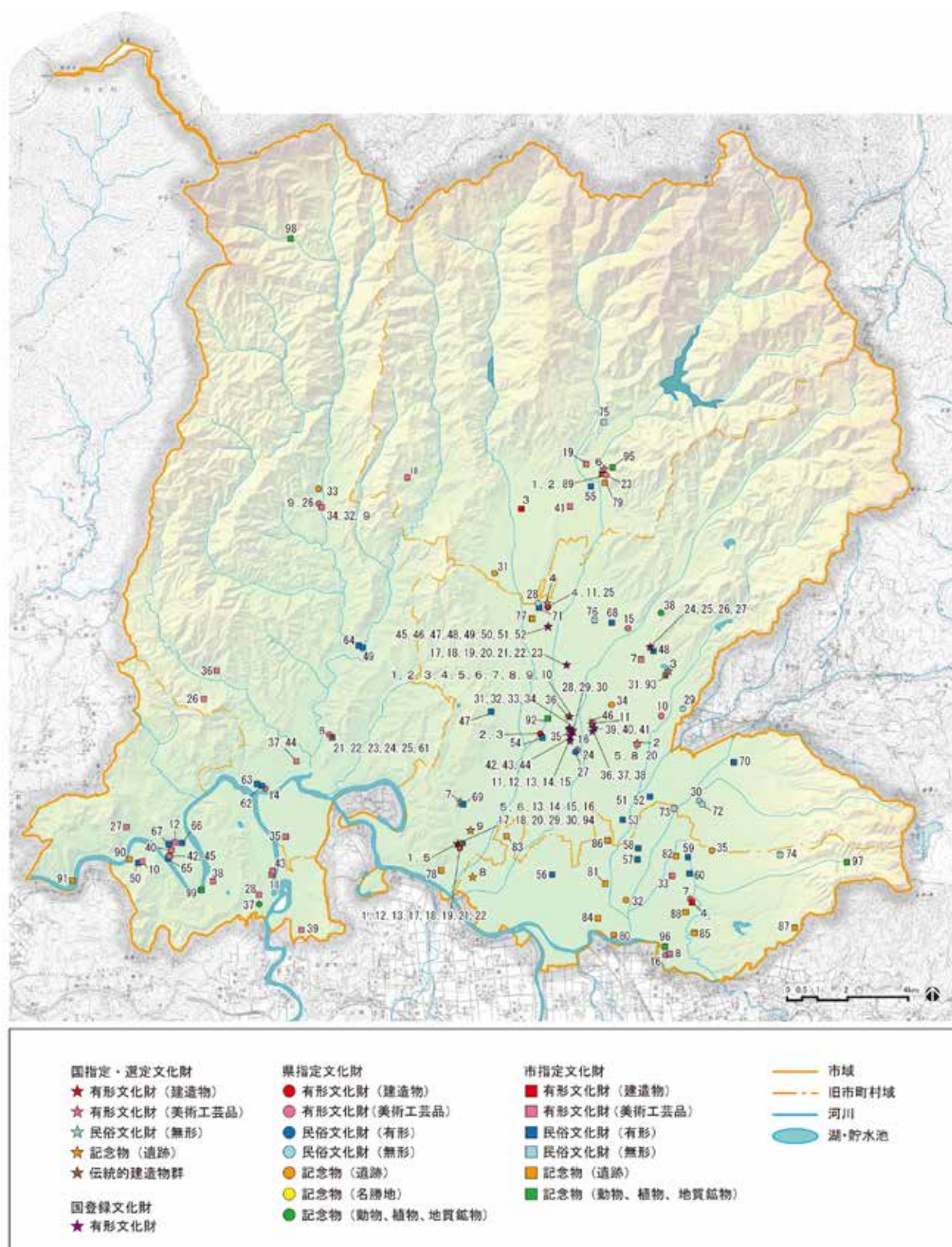


図 2-1：喜多方市の指定等文化財分布図

2. 認定等文化財

(1) 日本遺産（文化庁）

「日本遺産」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーのことであり、文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

本市では、「会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～」が、複数の市町村にまたがってストーリーが展開する「シリアル型」として認定されており、「会津の三十三観音めぐり」を語る上で不可欠な文化財群は、「構成文化財」として位置付けられています。

本市では、下表のものが構成文化財として認定されています。

①認定自治体（◎印は代表自治体）

会津17市町村（◎会津若松市、喜多方市、南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、会津美里町、三島町、金山町、昭和村）

②ストーリーの概要

磐梯山信仰を取り込み東北地方で最も早く仏教文化が花開いた会津は、今も平安初期から中世、近世の仏像や寺院が多く残り「仏都会津」とよばれています。その中でも三十三観音巡りは、古来のおおらかな信仰の姿を今に残し、広く会津の人々に親しまれています。会津藩祖保科正之が定めたといわれているこの巡礼は、広く領民に受け入れられ、のちに様々な三十三観音がつくられました。会津の三十三観音は、国宝を所蔵する寺院から山中の石仏まで、至るところにその姿をとどめており、これらの巡礼路を辿ることで、往時の人々のおおらかな信仰と娯楽を追体験することができます。

表 2-3：喜多方市の日本遺産構成文化財一覧

名称	指定等の状況
木造薬師如来坐像（中善寺）	国指定
木造阿弥陀如来及両脇侍坐像（願成寺）	国指定
木造文殊菩薩騎獅像（熊野神社）	県指定
会津三十三観音	未指定
第1番札所 大木観音 第2番札所 松野観音	
第3番札所 綾金観音 第4番札所 高吉観音	
第5番札所 熱塩観音 第6番札所 勝 ^{すぐれ} 観音	
第7番札所 熊倉観音 第8番札所 竹屋観音	
第9番札所 遠田観音	
勝福寺観音堂（勝福寺）	国指定
木造如意輪観音坐像（観音寺）	県指定

（２）100年フード（文化庁）

全国各地には、比較的新しいものであること等を理由に文化財として登録されていない食文化であっても、世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきたものが数多く存在しています。

「100年フード」とは、そのような食文化を地域の関係者や地方自治体が100年続く食文化として継承することを目的に、文化庁が認定するものです。

本市では、「近代の100年フード部門 ～明治・大正に生み出された食文化～」に「喜多方ラーメン」、「伝統の100年フード部門 ～江戸時代から続く郷土の料理～」に「山都そば」が認定されています。

概要

【喜多方ラーメン】

「喜多方ラーメン」は、大正末期に中国から渡ってきた一青年が屋台を引いてラーメン（支那そば）を売り歩いていたのが発祥とされ、それこそが90余年の歴史を持つ喜多方ラーメンの元祖といわれています。喜多方ラーメンは、一般的に麺の幅が約4mmの太麺で、水分を多く含ませじっくり寝かせて作る「平打ち熟成多加水麺」と呼ばれ、コシと独特の縮れがあるのが特徴です。また、スープは醤油味がベースですが、塩味や味噌仕立て等、店によって千差万別で、様々な味を楽しむことができます。これらの麺とスープには、飯豊連峰からの豊富な伏流水や「平成の名水百選」にも選ばれている「拇峰渓流水」が使用され、同様に美味しい水を利用して作られる良質な醤油・味噌とともに味の決め手となっています。

【山都そば】

山都地区の「山都そば」は、古くから米の代替食としてだけではなく、冠婚葬祭時のもてなしのご馳走として振舞われています。特に婚礼の祝いの席では、客人をもてなす側が「そば口上」という、蕎麦をほめる言葉におもしろおかしく節を付けて唄う習慣があります。「山都そば」は、製粉歩留りが7割以内のそば粉で、つなぎを一切使わずに手打ちするため、白っぽく透き通った色合いで、しこしことした独特の歯ごたえがあるのが特徴です。新そば以外でもそばをおいしく食べるために様々な工夫がされており、冬に積もった高密度の雪を利用した雪室（低温貯蔵施設）で貯蔵したそばの実を挽いて打った「雪室そば」や、江戸時代に將軍家へ献上されたとされる「寒晒しそば」など、様々な味を楽しむことができます。

（３）食文化ミュージアム（文化庁）

我が国には、地域ごとの特色のある食や受け継がれてきた食の技術等、多様な食文化が存在します。文化庁では、そのような食文化に関する学びや体験の提供に取り組む博物館等の施設に関する情報を集約し、ウェブ上の仮想のミュージアムである「食文化ミュージアム」において一体的に発信しています。本ミュージアムを通じて、日本の食文化に触れてもらうとともに、実際に各施設に足を運んで地域の食文化を学び・体験する機会につながることを目的としています。

本市では、食の体験・情報発信施設として、「飯豊とそばの里センター」が認定されています。

概要

「山都そば」は、飯豊山の豊富な伏流水とそば栽培に適した気候風土により、山都地区において連綿と受け継がれてきました。栽培・製粉からそば打ちまで、一貫したこだわりを持つ山都そばのうまさの秘密と、そばの「食」としての素晴らしさを後世に伝えるため、「飯豊とそばの里

センター」の「そば資料館」では山都そばに関する資料展示等を、「そば伝承館」ではそば打ち名人による実演や、熟練した手打ち技術により生み出された山都そばを提供しています。豊かな恵みをもたらす飯豊山を眺めながら、山都そばの味を楽しむことができます。

(4) その他

①近代化産業遺産（経済産業省）

全国各地には、我が国の産業近代化の過程を物語る存在として、数多くの建築物、機械、文書が今日まで継承されており、自らが果たしてきた役割や先人たちの努力等、豊かな無形の価値を今に伝えています。「近代化産業遺産」とは、これらの歴史的価値をより顕在化させ、地域活性化の有益な「種」として、地域の活性化に役立てることを目的に、経済産業省が認定するものです。

平成19年度（2007）及び20年度（2008）において、地域史・産業史の観点から、それぞれ33のストーリーとして取りまとめた「近代化産業遺産群33」、「近代化産業遺産群 続33」が公表されました。

本市では、以下のものが認定されています。

表 2-4：喜多方市の近代化産業遺産一覧

ストーリータイトル	名 称	指定等の状況
4. 建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産などの歩みを物語る近代化産業遺産群	—	—
喜多方市の赤煉瓦製造関連遺産と建造物	登り窯	市指定
	大和川酒造煉瓦煙突	未指定
	喜多の華酒造煉瓦煙突	未指定
	吉の川酒造煉瓦煙突	未指定
	甲斐本家煉瓦煙突	国登録
	若菜家煉瓦蔵	国登録
	若喜商店煉瓦座敷蔵	国登録
	煉瓦米蔵	未指定
	金田洋品店	未指定
13. 大量輸送を支えるため近代化・国産技術化が急がれた鉄橋・鋼橋の歩みを物語る近代化産業遺産群	一の戸橋梁	未指定
25. 東北地方の産業振興の基礎を築いた水資源・交通・都市基盤整備の歩みを物語る近代化産業遺産群	—	—
安積疏水・日橋川等の水力発電関連遺産	雄国隧道	未指定
旧国鉄日中線の遺産	旧国鉄日中線熱塩駅（日中線記念館）	未指定
	日中線跡サイクリングロード	未指定
旧岩越鉄道（現：JR 磐越西線）の遺産	一の戸橋梁	未指定
	山都駅 油庫	未指定

②つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（農林水産省）

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」とは、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解と協力を得ることを目的として、改めて優良な棚田を認定する取組です。

本市では、以下の棚田が認定されています。

表 2-5：喜多方市の近代化産業遺産一覧

名 称	所 在 地	指定等の状況
うわげき 上堰棚田	山都町相川地区および早稲谷地区	未指定

③指定棚田地域（内閣府地方創生推進事務局）

「指定棚田地域」とは、昭和25年（1950）2月1日時点の市町村の区域で、勾配が20分の1以上の棚田が1ha以上ある地域の中から、都道府県の申請に基づき、国が指定するものです。指定棚田地域に指定された場合、農林水産省事業の補助率の嵩上げ等の支援を受けることができます。

本市では、以下の地域が指定されています。

表 2-6：喜多方市の指定棚田地域一覧

指定地域 ⁶	棚田の名称	指定等の状況
喜多方市相川村	上堰棚田	未指定
喜多方市早稲谷村	上堰棚田	未指定

④平成の名水百選（環境省）

「名水百選」とは、全国に多くの形態で存在する清澄な水について、その再発見に努め、広く国民にそれらを紹介し啓蒙普及を図るとともに、このことを通じ国民の水質保全への認識を深め、併せて優良な水環境を積極的に保護すること等、今後の水質保全行政の進展に資することを目的に、昭和60年（1985）3月に全国各地100ヵ所の湧水や河川を選定したものです。

また、平成20年（2008）には、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境のなかで、特に市民等による主体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われているものを、前述の「名水百選」に加え、「平成の名水百選」として選定し、併せて200選となりました。

本市では、以下の水が選定されています。

表 2-7：喜多方市の平成の名水百選一覧

名 称	所 在 地	指定等の状況
梶峰溪流水	熱塩加納町	未指定

6 相川村、早稲谷村は指定時の村名であり、現在は山都町相川地区、早稲谷地区となっています。

⑤緑の文化財（福島県）

「福島県緑の文化財」とは、県民に親しまれ愛されてきた名木や鎮守の森等の緑の財産を保護・保全して、かけがえのない貴重なみどりを引き継ぐものとして、知事が指定、登録したものです。

本市では、以下のものが指定、登録されています。

表 2-8：喜多方市の緑の文化財一覧

名 称	地 区	指定等の状況
熊野神社の森	慶徳町新宮（熊野神社）	市指定「新宮熊野神社の大イチョウ」
稲荷神社のスギ	慶徳町豊岡（稲荷神社）	未指定
岩月の大クリ	岩月町入田付	県指定「二軒在家の大クリ」
三島神社の森	上三宮町上三宮（三島神社）	未指定
金川の大イチョウ	塩川町金橋（戸隠神社）	市指定「戸隠神社の大イチョウ」
竹屋観音のモミ	塩川町中屋沢（竹屋観音寺）	未指定
別府一里塚のクヌギ	塩川町小府根	未指定
木曽のイチョウ	山都町木曽（宗像神社）	未指定
護法山の森	熱塩加納町熱塩（示現寺）	未指定
温泉神社の大杉	熱塩加納町熱塩（温泉神社）	市指定「温泉神社の大杉」
須賀神社の杉	山都町早稲谷（須賀神社）	未指定
ならずの銀杏	高郷町揚津（円満寺）	未指定
観音檜	高郷町磐見（鏡福寺）	未指定
南原堤の桜	塩川町五合	未指定
中善寺の夫婦カリン	関柴町関柴（中善寺）	市指定「中善寺のめおとカリン」
御沢のスギとトチ	山都町一ノ木（飯豊山神社）	市指定「御沢の杉と栃」
杓子ヶ入のメグスリノキ	塩川町中屋沢	市指定「杓子ヶ入のメグスリノキ」

3. 未指定文化財

既往調査によって市町村史や報告書等に記載されており、令和5年（2023）4月時点で把握している本市の未指定文化財は、1,446件に上ります。

なお、未指定文化財の詳細は、資料編の「歴史文化資源データベース」に掲載しています。下記の件数は市内の全ての未指定文化財を網羅したものではなく、今後の歴史文化資源の把握調査で新たに未指定文化財が把握できた場合は、データベースや一覧表を更新していきます。

表 2-9：喜多方市の未指定文化財の件数

区分			地域別					合計
			喜多方	熱塩加納	塩川	山都	高郷	
有形文化財	建造物		26	24	13	33	13	109
	美術工芸品	絵画	2		1	3	2	8
		彫刻	22	15	38	98	9	182
		工芸品	2	6	11	42		61
		書跡・典籍		4		1	1	6
		古文書	142	25	67	112	43	389
		考古資料		1				1
		歴史資料	2			20		22
無形文化財	芸能（演劇、音楽）							0
	工芸技術							0
	その他							0
民俗文化財	有形		37	10	18	25	11	101
	無形		20	7	8	6	4	45
記念物	遺跡		146	82	106	79	60	473
	名勝地				2		1	3
	動物、植物、地質鉱物		2	2	3	3	3	13
文化的景観								0
伝統的建造物群								0
文化財の保存技術								0
その他の文化財			5	2	4	10	12	33
合計			406	178	271	432	159	1,446

※1,446件のデータは、資料編の歴史文化資源データベースを参照。

※数字が空欄である場合は、現在把握している該当数が「0」であることを示します。

※「古文書」は、資料収集等で把握している文書所蔵家の件数を記載しました。

(1) 有形文化財

①建造物

寝殿造りの形式を踏み、平安時代後期に遡る建築とされる「熊野神社長床」、和様の要素が多く中世末期の優れた仏堂である「勝福寺観音堂」、長床を拝殿として新宮・本宮・那智の3殿で構成される「熊野神社本殿」、関東から東北にかけて17世紀後半に建てられた浄土宗壇林の代表的形式を持つ「願成寺本堂・旧阿弥陀堂・山門」等、指定件数10件中8件が社寺建造物です。

このほか、「旧手代木家住宅」、「旧外島家住宅」といった、江戸時代末期に建てられた村役上層農民の住宅が指定文化財となっています。喜多方地方の民家は、地元用材による軸組工法で骨組を組み立て、内部の仕切りは引戸が使われることが多く、共通した特徴となっています。屋根は切妻・半切妻（兜造り）、入母屋、寄棟の各造りがありますが、寄棟が最も多く、地域的特性から茅・葦等の草葺きで、現在ほとんどがトタンを被せています。全体の形としては、直屋造り・中門造り・曲屋造りに分類されます。当地の厩については、直屋の母屋の中の非居住部分に置く場合と、曲屋造りで母屋から厩を正面左右のいずれかに突出させたL字形の曲がり部分に置く造りがあります。

また、喜多方市街を中心に、江戸時代末期から昭和初期にかけての建造物が国登録有形文化財となっており、その多くが生業や産業と密接に結びつく多様な用途を持つ土蔵造りの建造物です。会津藩では文化文政期以降、城下の商家をはじめ駅所（番所）や市場の開設地では代官所への申請によって土蔵の建築が認可されており、当地方においても、小荒井・小田付・熊倉等の市場が開設されていた場所では、早くから土蔵の建築が許されていました。土蔵建築が一般農村や商家に普及するのは、幕末から明治期と、明治中期から昭和初期にかけての2つの時期をあげることができます。幕末から明治期においては、酒造や味噌・醤油醸造に使用する蔵や漆器蔵、定期市の常設化に伴う商品の貯蔵や焼失・盗難防止のための蔵等、自家の生業や産業に関わる土蔵が多く建てられました。また、明治中期から昭和初期にかけては、農村経済の不況により、地主や商家、金融業者への土地集中が進み、その土地からの小作米の貯蔵庫として土蔵が建てられました。店蔵・座敷蔵・家財蔵・商品蔵・穀蔵・醸造蔵等、用途や規模が異なる多様な土蔵が残りますが、仕様は共通しています。屋根は基本的に切妻で、置屋根形式の「二重屋」と軒先の蛇腹を漆喰で塗り込めたものがあり、塗り込めの断面形状には、直線状の「切っ立て」と円弧状の「繰り」があります。塗り込めのものも構造は置屋根で、軒廻りに木摺下地を組んで漆喰を塗ります。外壁は白漆喰塗仕上げ、黒漆喰塗仕上げのほか、漆喰塗を施さない中塗仕上げの蔵があり、明治中期から昭和初期に建てられたものでは、煉瓦蔵や石蔵もみられます。

未指定であっても、市内には多くの社寺が所在し、歴史のある本堂・本殿や仏堂、鳥居、厨子等が残ります。隠れキリシタンが密かに信仰したと思われる珍しい仏壇が伝わる個人宅もあり、非常に興味深いものです。また、店蔵や蔵座敷といった土蔵のほか、曲屋、修験道の法印家等、様々な形態の建造物が市内に所在しています。

近代以降の産業に関係する建造物も多く残っています。明治中期以降に、三津谷（岩月町）に窯が設けられたことにより、地元で煉瓦と瓦が生産されるようになりました。釉薬の赤い色味が特徴で、これ以降、煉瓦を用いた蔵や塀、煙突等の建造物が建てられるようになり、瓦葺も普及しました。鉄道関係では一の戸橋梁や旧国鉄日中線熱塩駅（日中線記念館）、そして、本市を流れる河川を利用した新郷発電所・山郷発電所・猪苗代第四発電所等、多くの発電所が挙げられます。

②絵画

指定文化財はありませんが、寺院には仏画や襖絵、天井画、縁起等が残されています。「舟曳きの図」や「木地師縁起掛図」等、舟運や木地師にまつわるものや、「利田村小町塚ノ縁起」という本市を訪れたと伝わる小野小町について書かれた資料も残っています。

また、大正7年(1918)から同14年(1925)にかけて活動していた「喜多方美術倶楽部」より、小川芋銭や酒井三良等の画家たちが描いた絵画が、当時宿泊した旅館や個人宅に残されています。

③彫刻

「木造阿弥陀如来及両脇侍坐像」(願成寺)や「木造薬師如来坐像」(中善寺)、「熊野神社御神像」(新宮熊野神社)、「木造文殊菩薩騎獅像」(同)、「銅造五大虚空蔵菩薩坐像」(飯豊山神社)等はいずれも鎌倉時代の作で、当地の仏教文化や信仰の在り方を考える上で大変貴重です。そのほか、中世から近世にかけて製作された彫刻30件が指定されています。とりわけ、願成寺と新宮熊野神社には、指定文化財以外にも多くの彫刻が存在しています。市内各地の社寺や堂宇にも、指定はされていないものの貴重な神仏像、祖師像のほか、聖徳太子像や八百比丘尼像等の様々な彫刻が伝わっています。地域の人々により大切に守り伝えられてきたため、その姿を直接見ることができないものも多いのが実情です。

④工芸品

「銅鉢」(新宮熊野神社)や「椿彫木彩漆笈」(示現寺)、「熊野山牛玉宝印版木および宝珠」(新宮熊野神社)をはじめ、銅鐘や鰐口、鈴等、社寺に伝わる仏具類17件が指定となっています。指定以外にも、社寺には梵鐘・鰐口・双盤・錫杖・磬子・香炉・燭台・擬宝珠・百万遍数珠といった什宝類がまだまだ数多く所蔵されており、会津地方の鋳物師等、職人の技を今に伝えています。

また、個人宅にも、漆器や刀剣等貴重な品々が伝わり、会津の工芸品の裾野の広さを示しています。

⑤書跡・典籍

「大般若経附経櫃六合」(新宮熊野神社)、「大般若経六百卷付経櫃六合」(中善寺)、「紺紙金泥法華経」(飯豊山神社)の3件が指定文化財となっています。これら的大般若経は、現在でも転読に使用されています。指定以外では「来迎阿弥陀三尊仏掛軸」、「釈迦涅槃図掛軸」、「観音・勢至菩薩掛軸」等の神仏掛軸や「血書経」、「大般若経木札」等の經典類が所在しています。

⑥古文書

示現寺には膨大な数の古文書が残されていますが、そのうち貞和4年(1348)～天文23年(1554)までの文書11通と、天正11年(1583)～寛永20年(1643)までの文書7通が「示現寺文書」として指定されています。また、飯豊山信仰の歴史を知る上で貴重な資料として「知行証文」(飯豊山神社)が指定されているほか、指定以外にも新宮熊野神社の「新宮雑葉記」をはじめ、神社や寺院には由来書や棟札等、多くの古文書が伝わっています。

また、当時の農村構成や行政の実態等を知ることができる「先祖譲状三軸外文書」や「斎藤家肝煎文書」等の指定文化財以外にも、村役人等を務めた家を中心に多くの古文書が残されており、市町村史編纂の際に調査・収集した各地域の諸家文書類も膨大な数に及びます。村々の地理的条件・産業・民間行事・慣習等を書き記した「風俗帳」や、修験道関連、木地師・屋根葺き・猟師・坑夫等といった諸職人にまつわる古文書も伝わり、貴重な資料です。

⑦考古資料

現存する在銘経塚遺物として東北地方最古の「松野千光寺経塚出土品」、縄文時代から弥生時代への移行期の再葬墓の土坑内から出土し、会津北部地域においては唯一の「弥生土器」（岩尾遺跡）、縄文時代中期の土器に限定され、出土状況から地層の年代も特定できる「博毛遺跡出土品土器」、完形で出土した「馬景遺跡出土品甕型土器」の4件が指定されています。

このほか、これまでの発掘調査で出土した土器や石器等の膨大な考古資料が保管されています。

⑧歴史資料

歴史資料5件のうち、3件は絵図で、近世初期における飯豊山登拝の様子が克明に描かれる「絹本著色飯豊山参道絵図附桐箱一合」のほか、小田付伝統的建造物群保存地区の範囲決定の根拠資料ともなった「岩代国耶麻郡小田付村絵図」等が指定されています。「渡船場制札」は、船渡しの際の金額や交通規制が分かり、本市の交通の歴史を知る上でも貴重な資料です。

指定外では、個人宅にまともに残された神社の版木類、江戸時代に真木村（慶徳町）へ流罪となった教育者・無為庵如黙の遺品や、当地で盛んであった藤樹学関係資料、喜多方事件で有名な自由民権運動関係資料等があげられます。

（2）民俗文化財

①有形の民俗文化財

江戸時代から昭和初期まで会津一円で販売された「会津型」と呼ばれる染型紙は、東北地方の着物の柄や流行、衣文化の発展過程を把握できるという点から貴重であるとして、型紙をはじめ原画、古文書・道具類等3万点以上が「会津の染型紙と関係資料」として指定されています。

宮中八幡神社・慶徳稲荷神社・館稲荷神社・上三宮三島神社・熊野神社（山都町藤沢）には「農耕絵馬」が残されており、これらはいずれも実際の光景を描いたものと考えられ、当時の農作業の様子や道具、風俗が分かることが特徴であるとして、市の指定となっています。このほか、有形の民俗文化財26件中17件が供養碑や供養塔、板碑、道標等の石造物です。

未指定ながらも市内各地には絵馬や奉納額、古峰神社や庚申塔等の石碑、オシメサマ（オシンメサマ）といった民間信仰を窺えるものが数多く残っており、また、各地域の郷土民俗館では、稲作や農作業に関する道具を中心に、その地域の生業に関するものや農閑期に行われる藁細工や竹細工、紙漉きに関する道具類を展示・保管しています。

②無形の民俗文化財

全国にある御田植祭の北限として、「慶徳稲荷神社の御田植祭」が「伊佐須美神社の御田植祭」（会津美里町）とともに「会津の御田植祭」に指定されているほか、奉納神楽の伝統を良く伝える「上三宮三島神社の太々神楽」、五穀豊穰と集落の安穏を願った「熱塩の梵天祭」、また、会津地方で春の彼岸に舞われる三匹獅子舞は、関柴町下柴と松山町中村に残されています。熊倉町小沼と塩川町中ノ目に伝わる念仏踊りは、会津における民間の仏教文化と念仏踊りの系譜を知る上で欠かせないもので、湯川村勝常の念仏踊りとあわせて「会津大念仏摂取講」として指定されています。

近世以来の伝統を持ち、年頭に開催される「初市」は、喜多方地域の小荒井・小田付・塩川地域・山都地域に継承されており、市神を祀り、起き上がり小法師や風車等の縁起物をはじめとした露店が並びます。これらは「会津の初市の習俗」として記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されています。

そのほか、熊倉町都の館稲荷神社、塩川町中屋沢の舟森山稲荷神社にも御田植祭が伝えられており、上三宮町の願成寺では「来迎会」がとり行われています。熱塩加納町の示現寺では熱塩温泉を開湯したと伝わる源翁の像（現在は藜^{あかさ}の杖）を源泉につからせる「湯殿入り」という行事が今日まで継承されています。このほか、三十三観音巡りや観音講、古峰神社代参等の様々な講、歳の神、盆踊り、祭りの太鼓台巡行や祭り囃子等の風習も多く地域で継承されています。

伝統工芸である会津の漆器「会津塗」は、天正18年（1590）、藩主として会津にきた蒲生氏郷が彼の出生地であった近江国から、多くの木地師、塗り師の職人を招き、農閑期の副業として奨励保護したのが始まりであるといわれています。会津若松の漆器が主に盆や膳等の高級品であるのに対して、本市の漆器は椀物・鉢物等の日用品を主に担ってきたことが特徴です。また、周囲の山を産地とする良質な桐を使って作られる「桐下駄細工」や雄国沼近郊に群生している根曲り竹を使って作られる「雄国根曲竹細工」等の伝統工芸技術があり、現在、雄国伝統の竹細工技術の伝承・保存と後継者の育成が進められています。このほか、近世期から始まった酒や味噌醤油等の醸造業も代々行われています。

食文化には、こづゆや鯨の山椒漬、棒たら、えごのように阿賀川舟運によりもたらされた海産物を使った郷土料理があります。山間部では古くからそばが栽培され、特に「山都そば」が有名です。また、大正時代末期から始まったとされる「喜多方ラーメン」は、喜多方地域を中心に多くの店舗で提供され、朝にラーメンを食べる「朝ラー」という独自の習慣も根づいています。

（３）記念物

①遺跡

塩川町や熊倉町等の市南東部の山麓地では多くの遺跡が確認されており、縄文時代早～中期の集落遺跡「大原遺跡」、貝殻腹縁文や刺突文等の特徴を持ち「常世式」と命名される、縄文時代早期の標識遺跡「常世原田遺跡」が指定されています。また、近年の発掘調査で土偶をはじめとした多数の遺物や、縄文時代の墓域が発見された「藤権現遺跡」があります。

本市域には２つの大きな古墳群があります。盆地北西部の慶徳町山麓から会津坂下町にかけて形成される宇内青津古墳群では、市の指定史跡である「山崎横穴古墳群」や、銅鏡や大量の鉄製品、竪櫛、石棺内から人骨が出土した「灰塚山古墳」、「虚空蔵森古墳」、「天神免古墳群」等があります。盆地北東部に広がる雄国山麓古墳群では、「糠塚古墳群」、「十九壇古墳群」、「深沢古墳」、「常世・竹花古墳」が指定されています。

また、国の指定史跡であり古墳時代中期の豪族居館跡として灰塚山古墳との関連性も注目される「古屋敷遺跡」、同じく国の指定史跡「会津新宮城跡」をはじめ、「青山城跡」や「鑑ヶ城跡土塁」のように、当地を治めた人物に関わる城跡や館跡等の遺跡も未指定も含めて数多く確認されています。

このほか、「伝佐原義連の墓」や「伝小野小町塚」のように地域の伝承に基づいたもの、「別府の一里塚」や「春日神社石祠」のように交通に関わるもの、自由民権運動関係の記念碑等があります。

②名勝地

日本を代表する庭師・松本亀吉によって作庭され、大正時代の庭園と技術を今日に伝えるものとして、「旧甲斐家庭園」が指定されています。このほか、ほまれ酒造の庭園等、商家や肝煎層、寺院の敷地内に造られた日本庭園が見られます。阿賀川沿いの「一竿^{ひとさお}のへつり」は風光明媚な場所として知られています。

③動物・植物・地質鉱物

動物は、特別天然記念物である「ニホンカモシカ」のほかに、「ギフチョウ」、「キマダラルリツバメ」、「押切川公園イトヨ生息地」が指定されています。

植物は、「二軒在家の大クリ」や「新宮熊野神社の大イチョウ」といった樹木が指定となっているほか、「福島県緑の文化財」として多くの樹木や森が認定されています。また、ヒメサユリやフクジュソウ、カタクリ、ザゼンソウ等の群生地も確認されており、地域の人々によって保護活動が行われています。

また、「アイヅタカサトカイギユウ化石」や「塩坪化石層」のように、高郷地域では化石が多く確認されており、高郷地域で採掘される緑色凝灰岩「荻野石」は、市内の石造物に多く使用されています。

（４）伝統的建造物群

近世末期までに成立した地割が良好に残り、その上に店蔵や多様な土蔵が建ち並ぶ特徴的な歴史的風致を形成していることから、「小田付伝統的建造物群保存地区」が、在郷町・醸造町の種別で重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。このほか、小荒井地区・三津谷地区・杉山地区で伝統的建造物群保存対策調査が行われています。

（５）その他の文化財

本市には地域特有の方言や地名が残っており、古くからの伝承はその地域の成り立ちや歴史を偲ばせるもので、また、豊かな自然や風景も各地に見られます。これらの地域特有の歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきたものを「その他の文化財」として定義します。

本市の方言はいわゆる「会津弁」で、アクセントが無く濁音が多い「ズーズー弁」ともいわれるものです。盆地内と山間部、町場と周辺等、地域によっても微妙な違いがあり、長い歴史の中で忘れ去られる言葉もありますが、時代を経て変化し、受けつがれてきたものといえます。

地名については寺社、地理的状況、歴史上の人物や出来事等、様々なことに由来する小字名が現在でも残っており、往時を偲ぶだけでなく、その土地の状況をたどることも可能にしています。

市内各地域に語り継がれてきた伝承は、社寺の縁起等、信仰に関係するものが多いのが特色といえますが、自然環境や食べ物、地名、歴史上の人物等にまつわるものなど、非常に多岐にわたります。こうした昔話や伝説の伝承活動は、現在も語りの会等によって取り組まれています。

山都地域の「上堰棚田」は令和3年（2021）に「指定棚田地域」、令和4年（2022）2月には「つなぐ棚田遺産 ～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定されました。山都町の木曽・広野や一ノ木等、旧街道沿いや舟運が盛んであった阿賀川沿いには、伝統的な町並みが残る集落が見られるほか、上三宮町のようにかつての門前町を偲ばせる町並みも見られ、阿賀川・只見川の舟運の難所では、舟に綱をつけて川岸から船を曳いて遡上させたという「綱手道」の跡が残っています。平成21年（2009）12月に策定した「喜多方市景観計画」では、飯豊連峰、大深沢ダム（大深沢調整池）から望む雄国山麓、恋人坂や雄国山麓、三ノ倉高原からの会津盆地、大仏山と農村集落・田園景観、一ノ戸川沿いの田園景観、そば畑の農村景観、立岩の棚田、塩川のまち並み、一ノ木地区、西羽賀の家並み等が景観形成・保全対象として挙げられています。これらの自然や風景は、今後の調査・研究で名勝地や文化的景観として価値付け直すことも考えられます。

5. 歴史文化資源に関する調査

(1) 歴史文化資源調査

これまでに市や県等によって行われた歴史文化資源調査には、以下のようなものがあります。ここでは、市町村史のみの掲載とし、それ以外の調査については、資料編「主な歴史文化資源調査一覧」に掲載します。

①喜多方市史

巻 別	書 名	刊 行
第1巻	原始・古代・中世 通史編Ⅰ	平成11年(1999)
第2巻	近世 通史編Ⅱ	平成9年(1997)
第3巻	近代・現代 通史編Ⅲ	平成14年(2002)
第4巻	考古・古代・中世 資料編Ⅰ	平成7年(1995)
第5巻(上)	近世 資料編Ⅱ	平成5年(1993)
第5巻(下)	近世 資料編Ⅲ	平成6年(1994)
第6巻(上)	近代(明治期) 資料編Ⅳ	平成12年(2000)
第6巻(中)	近代(自由民権運動) 資料編Ⅴ	平成8年(1996)
第6巻(下)	近代(大正・昭和前期) 資料編Ⅵ	平成5年(1993)
第7巻	現代 資料編Ⅶ	平成10年(1998)
第8巻	自然編・旧町村誌編 各論編Ⅰ	平成3年(1991)
第9巻	民俗 各論編Ⅱ	平成13年(2001)
第10巻	文化 各論編Ⅲ	平成15年(2003)
別巻Ⅰ	図説・喜多方の歴史	平成16年(2004)
別巻Ⅱ	年表・索引	平成16年(2004)

②熱塩加納村史

巻 別	書 名	刊 行
第1巻	歴史編(原始・古代・中世・近世)	昭和57年(1982)
第2巻	歴史編(近代・現代)	昭和51年(1976)
第3巻	民俗編	昭和53年(1978)

③塩川町史

巻 別	書 名	刊 行
第1巻	通史編Ⅰ(原始・古代・中世・近世)	平成25年(2013)
第2巻	通史編Ⅱ(近・現代)	平成26年(2014)
第3巻	資料編Ⅰ(考古)	平成22年(2010)
第4巻	資料編Ⅱ(古代・中世・近世)	平成19年(2007)
第5巻	資料編Ⅲ(近・現代)	平成21年(2009)
第6巻	石造文化財編(石造物・板碑ほか)	平成20年(2008)

巻 別	書 名	刊 行
第7巻	民俗・文化編（暮らし・交通・信仰ほか）	平成18年（2006）
第8巻	自然編（地質・気象・動植物）	平成23年（2011）

④山都町史

巻 別	書 名	刊 行
第1巻	自然編・歴史編（原始・古代・中世・近世）	平成元年（1989）
第2巻	歴史編（近代・現代）	平成3年（1991）
第3巻	民俗編	昭和61年（1986）
資料1	略年表	昭和58年（1983）
資料2	原始・古代・中世	平成2年（1990）
資料3	近世文書Ⅰ	昭和63年（1988）
資料4	近世文書Ⅱ	昭和63年（1988）
資料5	近世文書Ⅲ	昭和63年（1988）
資料6	近世文書Ⅳ	平成元年（1989）
資料7	近現代文書Ⅰ（明治期）	平成3年（1991）
資料8	近現代文書Ⅱ（大正・昭和期）	平成2年（1990）
資料9	飯豊山信仰	平成2年（1990）
資料10	寺社と信仰	平成4年（1992）

⑤会津高郷村史

巻 別	書 名	刊 行
第Ⅰ巻	歴史編	昭和56年（1981）
第Ⅱ巻	歴史編（近現代）	平成7年（1995）
第Ⅲ巻	民俗編	平成14年（2002）
第Ⅳ巻	自然編	

(2) 歴史文化資源把握調査の状況

これまでの本市の歴史文化資源の把握調査状況をまとめると、以下のとおりとなります。地域全域で未調査のもの（×印）については、無形文化財や名勝地、文化的景観、文化財の保存技術等があります。また、調査には着手しているものの調査不足のもの（▲印）については、全域においてその他の文化財、地域によって建造物や彫刻、古文書、遺跡があります。

今後の歴史文化資源の把握調査は、全域では未調査のものを優先的に調査し、調査には着手しているが不足しているものがある地域は、それらについても調査を進めていく必要があります。

表 2-10：歴史文化資源把握調査状況一覧

		喜多方	熱塩加納	塩川	山都	高郷
有形 文化財	建造物	○	○	○	▲	○
	美術工芸品					
	絵画	×	○	○	×	×
	彫刻	○	○	○	▲	▲
	工芸品	○	○	○	○	○
	書跡・典籍	○	○	○	○	○
	古文書	○	○	○	▲	▲
	考古資料	○	○	○	○	○
	歴史資料	○	○	○	○	○
無形 文化財	芸能（演劇、音楽）	×	×	×	×	×
	工芸技術	×	×	×	×	×
民俗 文化財	有形	○	○	○	○	○
	無形	○	○	○	○	○
記念物	遺跡	○	▲	○	○	▲
	名勝地	×	×	×	×	×
	動物、植物、地質鉱物	○	○	○	○	○
文化的景観		×	×	×	×	×
伝統的建造物群		○	×	×	×	×
文化財の保存技術		×	×	×	×	×
その他の文化財		▲	▲	▲	▲	▲

（凡例） ○：調査完了 ▲：調査着手 ×：未調査

6. 歴史文化資源に関する取組

本市では、市、市関係機関、市内教育機関、関係団体等がそれぞれに、または連携しながら歴史文化資源の保存や活用に関する取組を行ってきています。今後、それらの取組がより確実なものとなるよう、さらに連携が深められるような体制づくりを進めていきます。

各部局において、本市特有の歴史文化資源を将来へ継承すべく、様々な取組が行われています。

(1) 市の歴史文化資源の保存・活用に関する取組

市では歴史文化資源の保存のために適切な修繕や管理を日々進めており、防災訓練や文化財パトロールのほか、修理に関する補助事業等も行っています。

このほかにも、町並み、緑の文化財や棚田等の自然景観、伝統工芸品である漆等の管理等、その内容は非常に多岐にわたるため、関係部局では計画的に事業を進めているところです。また、伝統野菜や行事食等の食文化に関する啓蒙事業の推進や、本市の歴史的人物をテーマにした読書感想文コンクールを開催する等、本市特有の歴史文化資源を将来へ継承すべく、様々な取組が行われています。

活用面では、歴史的建造物、埋蔵文化財や史跡の見学会、文化財巡り、民俗芸能の鑑賞会や講演会、伝統工芸の制作体験、郷土料理教室、山開き等、多くの市民が歴史文化資源に親しみ、体験できるような場を、各部局が持つネットワークを駆使しながら創出しています。歴史文化資源に関するパンフレットやガイドブックの作成のほか、市の広報誌「広報きたかた」も活用し、普及啓発活動に力を入れています。近年は地域の公民館事業で地元の歴史を学んだり、市特有の歴史文化資源でもある会津型を使った講座やワークショップも盛んです。

また、小田付伝統的建造物群保存地区の無電柱化や側溝整備、街路灯の設置等を実施し、公衆トイレ等周辺環境の整備により、観光客の利用の便を図り、快適に見学できるような計画を策定しています。一方で、日中線記念館や一の戸橋梁のライトアップのように、観光客のみならず地元の人々にも新しい視点での話題を提供したり、会津型をモチーフにした製品作りや給食での会津漆器の使用等、歴史文化資源をいかに活用していくかということに日々工夫を重ねているところです。

(2) 市内教育機関の歴史文化資源の保存・活用に関する取組

市内のこども園、小学校及び中学校では、地域文化資源に関する取組が行われています。地元の文化財を巡り、自分たちの住む地域の歴史を学んだり、こづゆや笹巻き等の郷土料理作りや年中行事を体験したりと、子供たちが楽しみながら歴史や文化に触れることのできる機会を設けています。

また、慶徳稲荷神社の御田植祭のように、実際に子供たちが行事の継承の一端を担っている事例もあります。彼岸獅子等の郷土芸能を鑑賞する機会も設けられ、少子高齢化で継承が困難になりつつある歴史文化資源に関して、早くから子供たちに触れてもらうことの重要性もこれらの取組の中に込められています。

総合学習の時間を利用して、日中線記念館や郷土民俗館、カイギュウランドたかさと等には毎年多くの児童・生徒たちが訪れており、歴史文化資源展示施設の見学も行われています。

（３）関係団体等の歴史文化資源の保存・活用に関する取組

郷土芸能や伝統工芸・伝統技術の継承を担うべく、各種保存会が活動をしています。雄国竹細工保存会、三津谷の登り窯に代表される喜多方煉瓦の伝承を目指す喜多方煉瓦会は、伝統工芸や伝統技術の継承を担っています。また、慶徳稲荷神社お田植まつり保存会、新宮地区重要文化財保存会、勝福寺観音堂保存会は、それぞれ国指定文化財である会津の御田植祭、熊野神社長床と銅鉢、勝福寺観音堂の保存を担う重要な役割があります。

保存会のほかにも、様々な団体が小田付伝統的建造物群保存地区や蔵、ラーメンといった本市の特徴的な歴史文化資源の普及啓発に取り組んでおり、イベント等の開催も盛んです。また、郷土史研究会や自由民権運動の顕彰会も継続され、語り継ぐべき地域の民話についても、関係団体等の支援や協力を得て次世代へと継承されています。

表 2-11：歴史文化資源の関係団体等一覧

団体名	活動内容	地域
一般社団法人喜多方観光物産協会	喜多方市の観光まちづくりの中核機関として、蔵、自然、温泉、食、文化的遺産等の地域資源を活かし、観光、物産及びグリーン・ツーリズムの振興を図り、市民、行政及び多様な産業の連携の下、住民が誇りと愛着を持つことができる地域社会の実現と交流人口の拡大による地域経済の活性化を目指し活動する。	全域
会津植物愛好会	植物の観察培養、民俗化石遺跡等の研究を行う。資料収集による地域文化の向上、自然保護を行う。	全域
エーデルワイス山岳会	山岳、峡谷、湖沼、森林及び歴史的な文化財に関心を持ち、これらの環境を積極的に保護する。	全域
会津型研究会	会津型の調査・研究・保存、会津型を用いた各種講座、地域の催し事への講師派遣協力、会津型を使用した商品開発等を行う。	喜多方
会津北方小田付郷町衆会	地域住民が主体となり、地元学生や大学、他団体と連携し、町並み保存と蔵文化の継承、地域の活性化をはかる。	喜多方
会津喜多方国際交流協会	海外諸国との文化や経済の交流を通じ国際理解を深め、国際社会の友好と平和に貢献する。	喜多方
特定非営利活動法人会津喜多方シニアネットきてみっせ	高齢者における情報化社会の活用支援事業、いきがい支援や、学校に係る情報化社会の活用支援事業を行う。	喜多方
会津喜多方商工会議所青年部	喜多方レトロ横丁運営補助、地域活性、貢献活動を行う。	喜多方
一般社団法人会津喜多方青年会議所	政治経済、社会文化等に関する調査・研究を行う。地域社会の健全な発展、知識や教養の修得と向上、能力開発を行う。	喜多方
会津喜多方祭囃子盆踊り保存会	喜多方の夏の風物詩「祭囃子」や各所に伝わる踊りを守り、後世に伝える活動を行う。	喜多方
会津念仏撰取講保存会	会津念仏撰取講の保存・継承をはかる。	喜多方
岩月豊友会	農業体験の受入や地域におけるイベント協力を行う。	喜多方
NPO 法人 URAKATA	文化活動に対して技術支援に関する事業を行い、まちづくりに寄与する。	喜多方

団体名	活動内容	地域
NP0 法人かけはし	市民が主体的に学ぶ機会と環境を提供し、誰もが幸せに暮らせる社会の創造に寄与する。	喜多方
NP0 法人喜多方市民活動サポートネットワーク	市民活動情報の収集及び提供、ボランティアコーディネート、まちづくり提案のほか、市民活動支援センター運営を行う。	喜多方
NP0 法人日中線しだれ桜プロジェクト	先人が遺した歴史的・文化的遺産を継承し、市民が後世に誇れる観光資産を創造するため、「日中線しだれ桜並木」を旧日中線熱塩駅まで延長して日本一の桜ロードにすることを目的に植樹や植樹に関する情報発信等を行う。	喜多方
雄国竹細工保存会	雄国沼近郊に群生している根曲がり竹を使い、県の伝統工芸品である「根曲がり竹細工」を製作する。毎月2回「おぐに交流の郷」（旧熊倉小学校雄国分校）にて講習会を開催する。	喜多方
おぐにの郷	雄国伝統の根曲がり竹細工技術や、雄国特産の手打ちそば等食文化の伝承・保存と後継者の育成を行う。	喜多方
小田付まちづくり協議会	まちづくりの活動母体として、地区住民代表や建築士会、観光物産協会、商工会議所、教育機関等から組織される。まちづくりに関する情報共有、検討や提案、実地活動等を行う。	喜多方
喜多方 蔵の会	喜多方の象徴である蔵への認識を深め、その保存と活用をはかり、地域経済、社会、文化の振興に寄与する。	喜多方
喜多方蔵の里民踊会	民謡や踊りの伝承を守るため、現地指導者から学び、発表するとともに、指導を行う。	喜多方
喜多方古文書研究会	テキストを作成・配布し、古文書を解説することで、歴史的背景などを学習する。	喜多方
北方山野探勝会	自然環境の保護に関心を寄せ、自然を探勝し、健康増進に努める。	喜多方
喜多方市瓜生岩子刀自顕彰会	社会福祉の礎となる業績を残した瓜生岩子刀自の遺徳を顕彰して後世に伝える。北町瓜生岩子刀自像前の清掃作業や読書感想文コンクール等を行う。	喜多方
喜多方市食生活改善推進委員会	地区住民の健康保持増進の意識高揚、地区における健康づくり活動の推進、活力ある明るい町づくりを行う。	喜多方
喜多方市ボランティア連絡協議会	地域社会への参加活動を行う。	喜多方
喜多方市防犯協会	防犯思想の高揚及び防犯広報、警察活動に対する協力・援助、そのほか防犯上必要な事業を行う。	喜多方
喜多方手話サークルひまわり会	手話の必要性を社会に広め、実践活動を可能とするため、ろうあ者との交流や手話の学習を行う。	喜多方
喜多方ホテル夢づくり会	市内の応名川に蛍の乱舞を夢見て活動する。平成16年に「ホテルの学校」を開校し、児童と共に蛍の生態や環境を学ぶ。	喜多方
喜多方民謡協会	私達の祖先が生活の中から生み出した民謡民舞を保存、継承し、後世に伝えるべく唄い継ぎ、踊り継ぐ。	喜多方
喜多方老麺会	市内に約100軒あるラーメン店により結成される。加入店舗の店先には、「喜多方老麺会」ののぼり旗が掲げられる。	喜多方

団体名	活動内容	地域
喜多方煉瓦会	伝統的地場産品「喜多方煉瓦」の技術を後世に伝え、煉瓦や煉瓦蔵にまつわる活動を通じ「喜多方煉瓦文化」を伝承する。三津谷の登り窯の管理・運営を行う。	喜多方
喜多方歴史研究協議会	地域の歴史、特に自由民権運動喜多方事件を中心に、その掘り起しと研究、顕彰の取組を他団体と連携して実施する。	喜多方
蔵の里きたかたケナフの会	ケナフ（麻）栽培により自然環境の保全を図り、森林資源補完の一翼を担う。	喜多方
特定非営利活動法人クラブまちてらす	女性や主婦の視点をいかし、子育て支援、老人支援、食の安全などの身近な問題から、地域資源をいかしたまちづくりに至るまでの多様な課題に取り組む。	喜多方
慶徳稲荷神社お田植まつり保存会	慶徳稲荷神社でとり行われる豊作を祈願する御田植祭の保存と継承をはかる。	喜多方
CoderDojo 喜多方（コーダードージョー）	子どものための無料プログラミング道場であり、子どもたちが主体的にプログラミングを行い、アイデアを具現化し、創造する。	喜多方
下柴獅子団	下柴の彼岸獅子の保存・継承をはかる。	喜多方
自由民権運動会津遺族会	慰霊・顕彰・研究事業、資料収集、会誌発行等を行う。	喜多方
修養団愛汗喜多方	修養団の趣旨と「愛汗精神」の理解と研修を行い、愛汗実践塾を開催する。公益財団法人修養団、福島県連合会の組織がある。	喜多方
勝福寺観音堂保存会	勝福寺観音堂の維持管理を行う。	喜多方
新宮地区重要文化財保存会	長床をはじめとする新宮熊野神社の維持管理を行う。長床等の修理や宝物殿で貴重な文化財を保管、展示する。	喜多方
中村彼岸獅子	中村の彼岸獅子の保存・継承をはかる。	喜多方
福島県建築士会喜多方支部（伝統的建造物委員会）	将来に渡り地区の歴史的風致を守るための技術・技能者の育成、保存事業への理解促進と知識の醸成をはかる。	喜多方
三島神社太々神楽保存会	上三宮三島神社の太々神楽の保存・継承をはかる。	喜多方
山崎横穴保存会	山崎横穴古墳群の管理等を行う。	喜多方
杉の実会	日中線記念館・機関車内の清掃活動等、地域社会の進展に寄与することを目的として活動する。	熱塩加納
特定非営利活動法人ひめさゆりくらぶ	子どもから高齢者までの誰もが、スポーツやレクリエーションに取り組める機会や環境を提供し、活気あふれる「ふれあいのまちづくり」を進める。	熱塩加納
梵天祭保存会	熱塩の梵天祭の保存・継承をはかる。	熱塩加納
夢の森花の散歩みち実行委員会	区域に群生している植物を活用し、地域振興と地域の活性化をはかる。花の散歩みちの整備、ウワミズザクラの花穂、果実等、自然の恵みを活用した特産品の取組等を行う。	熱塩加納
NPO 法人くるりんこ	地域資源（ヒト、モノ、カネに留まらない有形無形のあらゆるリソース）を複合的に活用する事で地域課題を解決し、持続可能な社会を実現する。	塩川
きたかた商工会青年部	地場産品を活用した商品の開発や、地域イベントへ参加し、地域活性化の一端を担えるよう活動を行う。	塩川

団体名	活動内容	地域
駒形堰委員会	駒形堰の維持管理を行う。	塩川
一般社団法人 塩川なまずの里の会	喜多方市塩川町の町おこし活動を行う。ご当地塩川ショコラ「のれんちょ」の販売、舟運の神である金毘羅神社の祭礼等を行う。	塩川
塩川民話の会	語りを通じた地域貢献を行う。	塩川
中ノ目念仏踊り保存会	中ノ目念仏踊りの保存・継承をはかる。	塩川
メグスリノキ・巨樹巨木保全協議会	杓子ヶ入メグスリノキの管理・保全を行う。	塩川
飯豊権現太鼓保存会	日本の伝統文化の継承と青少年の育成を行う。山都中での太鼓の指導と老人ホームへの慰問、県内外や海外での演奏活動を行う。	山都
自然を編む会	アケビづる、クルミ皮、ヤマブドウ皮などでの生活用品を製作する。	山都
沼ノ平むらおこし実行委員会	日本最大級の福寿草の群生地である沼ノ平の福寿草まつり、そばまつりを開催する。	山都
山都町郷土史研究会	地域の歴史に関するテーマについて、研究会での共同調査等を行う。	山都
山都民話の会	地元に伝わる民話や伝説を発信する活動を実施する。	山都
揚津グリーンツーリズム協議会	揚津棚田交流事業や農業体験を通し都会住民との交流事業を行う。	高郷
地割大神楽保存会	無病息災を祈る「高郷地割神楽」の保存・継承をはかる。	高郷
たかさと小町太鼓保存会	小町の里まつりや鳥屋山山開き、山都町の福寿草まつり、四季祭など地域のイベントに出演し、地域活性化およびPRを図る。	高郷
高郷自然愛好豊友会	雷神山遊歩道の看板設置、清掃作業、雷神山ハイキングを実施する。	高郷
高郷町史談会	三十三観音参拝、戊辰戦争死者の墓参を行う。	高郷
夢ロマン	小学校の総合学習や公民館で、史跡めぐり、紙芝居を通しての語り部活動を実施する。	高郷

